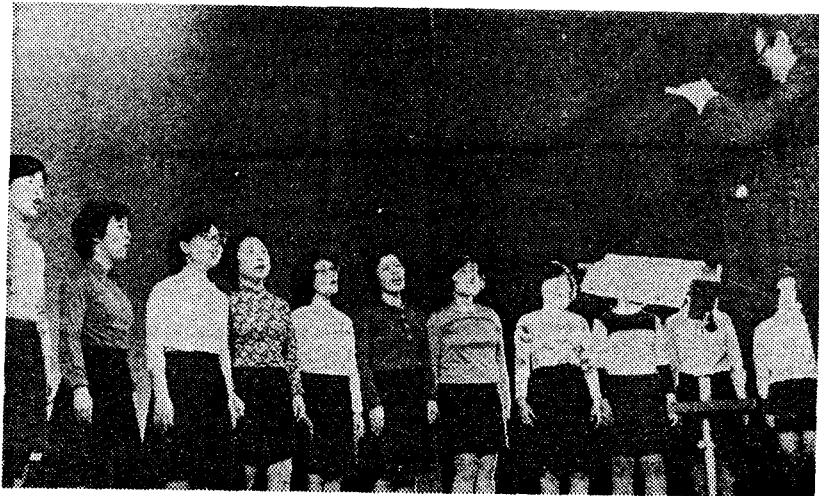


## 一億人のひとり



福島雄次郎さん(作曲家)

## 日本のバルトーク 民謡採集に奔走



### 初級講座(短期)

講師陣多彩

うたごえ運動の歴史を生かしながら「うたごえ」などな  
んでもできるよと、いす  
み・たく、佐藤光政(音楽コ  
ンクール優勝者)、芥川也寸  
志、矢野宣氏らを講師に、フ  
ォーク、カンツォーネ、労働  
歌、モダンダンス、アクシ  
ョン、民謡、指揮、司会のし  
た、音楽の歴史やレコード観  
賞、創作など幅広い企画で、  
「第一回初級短期講座生」が  
募集されています。

期間は三カ月間で、歌の好  
きな人なら誰でも参加できる  
という初級科で、しかも実践  
する立場から、各界の専門家  
を講師に迎えています。

▽毎週金曜日午後六時半〜九  
時  
▽東京・労音会館  
▽年令制限なし  
▽募集人員八十名  
詳細は(03)0101  
音楽センターまで  
門に入賞。

日本現代音楽協会会員、日本  
音楽舞踊会理事、尚美音楽学  
園専任講師、神奈川県民謡採集  
研究会主宰。

「ハンガリア交響楽団」  
「仙台合唱団定演」

現代音楽から学ぶ

総会・分科会に参加して  
杉ノ木少年団(京)の活動から

紙パのうたごえ祭典開かる  
新潟 地域サークルが22周年

2面  
3面  
4・5面  
6面  
7面  
8面

## 飯場できいた「五木の子守唄」

「ボクが二十三才だったでしょ  
うか、郷里の熊本で兄を亡くして山の  
飯場で働いていたんです。その頃は  
働くといいても土方(どかた)みた  
いな仕事しかなかった。そこでボクは  
『五木の子守唄』を飯場の男たちが、  
酒を飲みながらうたうのをきいたん  
です。それはビックリしました。

「おごーまーあーかんじんかんじん  
となまなまの叫びのまな無入道歌の  
ようだったんです」  
氏の言葉は早く、山奥の飯場で男  
たちがうたう歌をうたうときは、目を  
つぶって昔を語った。

「貧しくて高校を中退し、印刷所で金  
を稼ぐうちに結婚、五年余の闘病生活  
の中で最大の通病教育を受けて作曲法  
を学んでいたころはドン底生活だった  
という。ミシンのセールスマンから外  
交までやって食いつないで来た氏が、

「カンタータを書きたいが、交響曲  
も」といふ氏がめざす人は故人の大木  
正夫や筑紫秋吉氏だといふ。

言葉や理想でない氏の今日の行動は  
こうした青年期の体験からだろうか、  
いまでも苦たせず、サークルや合唱団  
へ足を運んでいる。民謡の調査・採集  
は「農民の生活」をみつめる心がそう  
させるのだらう。

「カンタータを書きたいが、交響曲  
も」といふ氏がめざす人は故人の大木  
正夫や筑紫秋吉氏だといふ。

「写真上は「焼米つく娘」  
ちを指揮、下は民謡の楽譜を  
前にいすれも鶴見会館で

### 今号の主な記事

音楽会評  
「ハンガリア交響楽団」  
「仙台合唱団定演」  
現代音楽から学ぶ  
総会・分科会に参加して  
杉ノ木少年団(京)の活動から  
紙パのうたごえ祭典開かる  
新潟 地域サークルが22周年

